

＜PGI 学術講演抄録＞※無断転載を禁じます

明日の診療に役立つ無歯顎治療のための機能解剖の重要ポイント

東京歯科大学解剖学講座

阿部 伸一

有床義歯を作製する際には、義歯の維持・安定を図り、口腔機能が円滑に行われるよう設計することが課題となります。そのためには、骨の吸収状況、筋の付着部位など解剖学的知識を念頭に置いて製作することが重要です。

本講演では、歯が喪失した場合の顎骨および顎関節部の形態変化について解説します。そしてその結果、義歯作成にとって重要な筋の付着部位は口腔内から考えるとどのような位置になるのかについて理解していただきたいと考えます。

また、口腔領域の組織は嚥下の瞬間最も大きく重要な変化をします。すなわち、嚥下動作を取り入れた義歯の作製が何故重要なのかについて機能解剖学的視点から解説を加えます。

臨床テクニックと重ねて解説していくことで、基礎的な解剖の知識の重要性を認識していただきたいと思います。